

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

横浜サステナビリティ研究センター有限責任事業組合

② 施設・事業所情報

名称：横浜市美しが丘保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：宇佐美 明子	定員（利用人数）： 111名（99名）
所在地：横浜市青葉区美しが丘2-2-1	
TEL：045-901-7190	ホームページ：
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：1974年7月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市	
職員数	常勤職員：20名 非常勤職員：32名
専門職員	保育士：40名 調理員：6名
	幼稚園教諭：20名 調理師：2名 栄養士：1名
	ネットワーク担当：1名 事務員：1名
	子育て支援担当：3名
施設・設備 の概要	（居室数）保育室：7室 （設備等）厨房・調乳室：各1室
	遊戯室 トイレ：5カ所
	事務室 プール
	休憩室 ビオトープ
	園庭

③ 理念・基本方針

【保育理念】 触れ合う・見つめ合う・語り合う・育ち合う保育園 ～未来を担う子どもたちの健やかな成長を願って～
【保育方針】 人との触れ合いや遊びを通して健やかに育ち合う保育
【園目標】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ じょうぶな身体、元気な子</li><li>・ 自分で考え、行動する子</li><li>・ 自分を愛し、人を愛せる子</li><li>・ 心豊かにあそぶ子</li></ul>
【保育姿勢】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 健康で心豊かに育つように、保護者と地域と協力して保育をすすめていきます。</li><li>・ 一人ひとりのこどもの姿を大切に受け止めながら、くつろいだ雰囲気の中で安心して園生活が送れるように配慮します。</li><li>・ 多くの経験を積み重ねていくので、いろいろな友だちと共に育ち合い心に響く保育をめざします。</li><li>・ 発達に即した自立を促します。</li></ul>

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概況】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 横浜市美しが丘保育園は、東急田園都市線たまプラーザ駅から徒歩約5分の住宅街にあり、美しが丘第5公園に隣接しています。近隣には大小さまざまな公園が多くあります。園舎は鉄筋コンクリート造2階建てで、1階には4歳児と5歳児の保育室</li></ul>
---

及び一時保育専用保育室があり、2階には0歳児から3歳児の保育室及びホールがあります。定員は0歳児から5歳児までの111名で現在は99名が在籍している大型保育園です。南側は道路に面して開けており日当たりがよく、道路を挟んで田園都市線が通ります。たまプラーザ駅が近いこともあり頻繁に電車の行き来はあるものの、スピードが緩やかなため保育に支障をきたすことはなく、電車の往来は子どもの楽しみになっています。園への出入りと入退室は24時間録画可能な防犯カメラを4カ所に設置しており、事務室のモニターでも確認できます。

【園の特徴】

- 横浜市美しが丘保育園は、1974年に開設され、古くから地域に見守られてきた歴史があり、地域自治会や近隣小学校との交流も盛んに行われています。

青葉区の育児支援センター園として育児支援専任保育士が配置され、園庭開放や交流保育、育児講座、育児相談等を実施しています。また、ネットワーク事務局園として専任保育士が青葉区内の保育・教育施設の連携の要を担い、園児の交流や子育て支援に関するイベント及び職員研修等の企画・実施をし、地域の保育の質の向上のための取り組みや繋ぐ役割を行っています。社会的にコロナ流行時には子育て支援の発信ツールとして、YouTube「なしかちゃんねる」とInstagram「おかわりなしかちゃんねる」を青葉区こども家庭支援課と区内公立園4園の職員で立ち上げました。

育児支援専任保育士を中心として、地域親子の高いニーズに応えています。また一時保育も多く利用があります。

- 一人ひとりの子どもの気持ちや意欲を大切に、主体的に生活や遊びを行うように心がけています。保育士や様々な人と関わる心地よさを感じながら生き生きと生活できるように保育を行っています。昨年度から子どもの身体づくりに力を入れて取り組んでいます。体幹やバランスを育てる活動をどのように実践していくのかをプロジェクトを中心に職員間で考え、特に今年度は散歩に出かける時にはねらいを持って活動しています。例えば、階段、坂道、でこぼこ道を歩いてバランス感覚を養い姿勢の保持を図っています。様々なバランス遊具も揃えて年齢に合わせて遊びに取り入れています。またわらべうた遊びやピアノの音に合わせてのびのびと身体を動かすリズム遊びも年齢に合わせて積極的に取り入れています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 4月 1日（契約日） ～ 2023年 12月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（ 2018年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

（1）共通評価における特長

公立保育園として保育に関する多くの行政指針を基盤としつつ、当園の理念・方針が着実に遂行されています。

保育人材に関しては、保育業務を隅々まで熟知した保育士、プロジェクト要員募集に自らエントリーする積極的な保育士などの職員・スタッフを園長が統括し、高度な専門的能力を備えた集団を組織していることがうかがえます。

YouTubeやInstagram、様々な情報サイトを活用して、利用者、子育て世帯・地域住民、幼保学生・求職者など、幅広い対象者に向けて情報発信を図っています。

組織的に保育の質の向上に向けて取り組んでおり、課題の改善策を次年度の目標として設定し、その達成に向けて編成されたプロジェクトチームが中心となって、組織全体で計画的にPDCAサイクルを実行しています。

（2）内容評価における特長

同行した芋ほりでは、出発前に園児が目をキラキラ輝かせて芋ほりに行くのを今か今かと楽しみにしている姿や、畑で土を一生懸命掘り進める姿、虫に触って観察して

いる姿、芋を掘り当て大声で周囲に報告する姿等、子どもたちの豊かな表情・表現が見られました。本イベントは保護者会との連携により開催しており、参加する保護者も多く、園と園児と保護者が一体となってイベントを楽しんでいました。

また、食事(昼食・おやつ)に同席した際は、子どもたちが美味しそうに夢中で食べている姿、完食やおかわりしている姿が多く見られました。実際に豊富な食材が使われた美味しい食事で、もっと食べたいな、明日の献立は何かな、と思わせるものでした。アレルギー対応が必要な子どもが安心して食事ができる体制や、個別対応が必要な子どもには少しでも食事に意欲が出るように量や盛り方を工夫している様子、下膳の際に食事が残っている子に対してはその理由を優しく聞き取る様子を確認し、職員全員が子どもの一食一食を大事に過ごしていることがうかがえました。

### (3) 今後期待される点

毎年、様々なプロジェクト(お散歩マップ、ハザードマップ、室内環境、第三者評価対応)を立ち上げ、保育スキルの向上や、経験・考えの共有を積極的に行っており、職員の意識の高さがうかがえます。その一方で、業務量が多くかつ緊張感がとても高く、休憩時間が確保しづらい、休暇が取りづらい等の意見もあります。今後は、職員が休憩や休暇を取りやすくし、よりリラックスした状態で保育にあたるようになることさらに保育環境の向上につながるでしょう。

保育所の書類(ファイル類)はすべて重要ですが、中でも業務日誌やカンファレンス日誌は、育児ノウハウ、歴史、事実等が記録された第一級の書類です。その重要性に即して、名称、体裁、書式、ファイリング、保存・保管方法等に留意した扱いが望まれます。また、ICT(情報通信技術)を活用し、職員の手書きにより分散している情報の集約化・共有化、職員の負担軽減を図るとよいでしょう。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

美しが丘保育園は平成24年度、31年度に続き、今回三回目の第三者評価を受審しました。「現在の美しが丘保育園の保育をしっかりと振り返り、保育の質の向上に取り組みたい」という思いを全職員共通認識のもとに計画的に取り組んできました。

昨年度から職員一人一人が評価項目を読み込み、自己評価を行いました。職員からは様々な意見や疑問が出され、その思いや考えを出し合い話し合い意見交換をすることで、美しが丘保育園の保育についての認識が深まりました。子ども達にとって必要なことは何か、私たちが行わなければならないことは何か、そして美しが丘保育園の良さや地域での役割、何を見直したら良いのか…保育の原点に返って考え取り組むことができました。

今回の第三者評価受審で、組織的な保育への取り組みや組織全体での計画的なPDCAサイクル、子ども達が伸びやかに過ごせる保育、センター園として役割を高く評価して頂いたことや、保護者アンケートの満足度が高かったことは、職員にとって大きな励みとなりました。

今後期待される点としてご指摘頂いた、職員の緊張感を緩和できる休憩環境や業務の効率化、ICTの活用による負担軽減等については、子ども青少年局や青葉区こども家庭支援課と共に取り組んでいきたいと思っております。

最後に第三者評価受審に際し、お忙しい中アンケートにご協力して頂いた保護者の皆さま、ご尽力頂いた評価機関の皆さまに心より感謝申し上げます。

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり